

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
集中	1年	4	選択
担当教員			
滝井 元視・森川 幸紀雄			
G (現代ビジネス学科)	S (専門科目)	HP (ホスピタリティ)	103 (基礎・入門科目)

授業のねらい (概要)	<p>本学の教育理念 (実学教育の重視、地域社会への貢献) に基づき、履修者がこれまでに習得した知識・技術を、企業・官公庁・医療機関等の現場で実践し、今後において向上させるべきスキルへの気づきやキャリアに対する新たな視点の修得を図ることを目的とする。そして、本学の認める実習先で、一定期間にわたって職務の実態、職場の人間関係、組織の運営等、実社会のさまざまな側面に履修者自ら触れた経験を、その後の学習活動や就職活動に有効に活用できるようにする。</p>
授業計画	<p>9/15 (火) インターンシップ報告会 1  ・オリエンテーション  ・『インターンシップ手帳』、『インターンシップ報告書』の提出  ・次回以降のスケジュール  予習 (時間) : シラバスの内容をよく理解する (30)  復習 (時間) : 報告会を聴いて得られた学びを整理する (30)</p> <p>9/29 (火) インターンシップ報告会 2  予習 (時間) : シラバスの内容をよく理解する (30)  復習 (時間) : 報告会を聴いて得られた学びを整理する (30)</p> <p>10/6 (火) インターンシップ報告会 3  予習 (時間) : シラバスの内容をよく理解する (30)  復習 (時間) : 報告会を聴いて得られた学びを整理する (30)</p> <p>10/20 (火) 企業研究 1  ・先輩のインターンシップ&amp;就職活動エピソード (講話)  予習 (時間) : 興味・関心のある企業、業界について整理してくる (30)  復習 (時間) : 講話を聴いて得られた学びを整理する (30)</p> <p>10/27 (火) 企業研究 2  企業研究のポイント  予習 (時間) : 興味・関心のある企業、業界を定めてくる (30)  復習 (時間) : 志望動機の作成に必要な情報を収集する (30)</p> <p>11/10 (火) 冬期・春期インターンシップ参加準備 1  ・エントリーシート、誓約書の説明  予習 (時間) : 応募書類作成のポイントを予習してくる (30)  復習 (時間) : インターンシップ受入れ先を探す。 (30)</p> <p>12/1 (火) 冬期・春期インターンシップ参加準備 2  ・インターンシップ先の確定  ・エントリーシートの作成  予習 (時間) : エントリーシートを作成してくる (30)  復習 (時間) : インターンシップ参加に必要な手続きを速やかに行う (30)</p> <p>12/8 (火) エントリーシート、誓約書の完成 (確認)  予習 (時間) : 応募書類を完成させ、持参する (写真添付、押印されたもの)  復習 (時間) : インターンシップ参加に必要な手続きを速やかに行う (30)</p> <p>1/19 (火) 最終回  ・単位認定について  ・マナー講座  予習 (時間) : マナーの授業を復習しておく (30)  復習 (時間) : マナーの確認をする (30)</p> <p>ガイダンスの構成は、上のスケジュールの座学 (9回) に、以下を加えた全15回とする。  就職セミナー、説明会等への参加 (2回以上) : ガイダンス6回分に相当</p>
授業を通して身に付けることができる能力 (DP)	<p>豊富な実務経験を積んでおり、自ら地域と関わることができ、課題発見能力を身に付けている。  【身に付くスキル】  協働力・学び続ける姿勢</p>
到達目標	<p>実習経験を踏まえて、将来の働くイメージを具体的に描くことができる。また、組織で働く上で必要な力を理解している。</p>
課題や小テスト等のフィードバックの方法	<p>ガイダンス内で個別にフィードバックする。</p>
履修上の注意	<p>1. 履修希望者は、第1回 (9/15・5限) に必ず出席すること。  2. 実習先の受入れ人数が限定されているため、履修者全員が希望通りの実習先に行くことができない場合があるので注意すること。  ※実習先の定員を超える申し込みがあった際には、エントリーシートの内容等によって審査される。  3. ガイダンスや通常授業における出席状況・授業態度・書類の提出状況等から、長期インターンシップの履</p>

	<p>修を取り消すこともあるので十分注意すること。</p> <p>4. エントリーシート、インターンシップ報告書、インターンシップ手帳を指定された期日までに提出しない場合は単位の認定ができないため注意すること。</p> <p>5. 単位の認定に必要な実習期間は、原則として4週間（180時間以上）とする。 →180時間-22.5時間（ガイダンス15回分）157.5時間以上の活動が必要。</p>
成績評価の方法・基準	<p>1. 実習関係書類の提出状況およびガイダンス（説明会含む）への参加姿勢：50%</p> <p>2. 実習中の勤務状況とインターンシップ手帳の記述内容：30%</p> <p>3. 終了報告の内容：20%</p>
教科書	なし。
参考書・教材	<p>【参考書】なし。</p> <p>【教材】なし。</p>
備考	実習科目
教員との連絡方法	e-mailを基本とする。アドレスは授業内で周知する。